

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	ため池整備事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	農政課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	事業係							
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		28 農業		5 農業用施設の整備を進める									
		副目的														
	予算区分	款	6		項	1		目	4		大	4		中	3	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	95 %				委託	5 %				助成	0 %			
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	農業に必要な水を安定的に供給するため、ため池の適正な維持管理が行えるよう整備を行う。														
	内容 (手段)	<p>・平成12年の東海豪雨による甚大な被害発生に伴い、農業用ため池においても、新川総合治水計画に基づいた下流域への負担軽減のため洪水調整機能の構築が望まれており、経年的な老朽化施設の整備も兼ねて整備を実施する。</p> <p>・職員は、設計、監督を行う。</p> <p>・平成23年度は、鷹ヶ池および太良上池(半面)の浚渫工事を実施した。</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <p>屋土池浚渫工事測量設計業務委託ほか1件(3,055千円)</p> <p>太良上池浚渫工事ほか2件(46,860千円)</p> <p>土地改良施設維持管理適正化事業負担金(7,020千円)</p> <p>○24年度実施内容</p> <p>・太良上池浚渫工事(半面)</p> <p>・屋土池浚渫工事</p> <p>・24年度より新たに県営土地改良施設耐震対策事業負担金を計上</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	54,322	25,443	56,935	62,337	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,595	1,595	1,595	1,595
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	55,917	27,038	58,530	63,932	
	対前年比	%		48.3	216.4	109.2		
財源	一般財源	千円	42,417	17,138	22,530	43,232		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	13,500	9,900	36,000	20,700		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	ため池の改修箇所数	箇所	目標		2	1	2
実績				2	1	2	
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	延べため池整備数	箇所	目標		26	27	29
実績				26	27	31	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	平成23年度に予定していた整備を、計画どおり進めることができた。				
		事業実施における課題等	区長からの工事申請に基づいてため池の浚渫工事を行っているため、長期間、整備されていないため池がある。また、東日本大震災で破堤し、甚大な被害を出したため池があるため、小牧市においても堤体の強度確認は必要である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	老朽化により整備が必要なため池は多い。事業の縮小・廃止により、農業に不可欠な水の安定供給ができなくなり、農業振興に影響がある。また、洪水調整機能も十分に発揮できなくなる恐れがあり、防災上、市民の安全を確保するための対策が進まなくなる。				
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持					
	判定理由	農業生産基盤の推進のため、継続する必要がある。今後は、市民生活の安全確保の面からも耐震対策等の整備を行っていく必要がある。					
	改善案等	ため池耐震対策については、被害予測に基づいた順位付けを行い、継続的に愛知県へ要望していく。また、未整備のため池状況を把握し、耐震対策等と調整を図り、継続的に整備を進める。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。